



令和2年12月1日発行
 第2号
 岡山市教育委員会
 生涯学習課公民館振興室
 (岡山市北区幸町10-16, 234-6015)

令和2年度 岡山市立 公民館大会 にご参加 ください

令和元年に「岡山市立公民館基本方針」が策定されて2年。基本方針を活かした新たな取り組みの成果と展望を、今年度は4つのテーマで皆さんと語り合いたいと思います。そして、“ともに わたしたちが 未来をつくる” ことについて考えてみましょう。様々な分野で活動する人や団体と出会えるチャンスです。交流を深めて、みんなで地域を元気にしていきましょう。

地域づくり
子どもを通した
地域づくり
1/23(土)
13:30~16:30
 ◇定員 会場40名(先着順)
会場:瀬戸公民館

防災・減災
避難所運営の
初動と準備
 ~福田公民館が避難所になったら~
1/24(日)
13:30~16:00
 ◇定員 会場30名(先着順)
会場:福田公民館

若者の地域参画
若者と地域を
つなぐ公民館
1/30(土)
14:00~16:30
 ◇定員 会場40名(先着順)
会場:操山公民館

地域福祉・共生
いつまでも住み慣れた
地域で暮らすために
 ~支えあいの仕組みを考える~
1/31(日)
13:30~16:00
 ◇定員 会場50名(先着順)
会場:操山公民館

【お申し込み方法】

4面の参加申込書に必要な事項を記入して、1月14日(木)までに公民館振興室または最寄りの公民館へお申し込みください。

(電話・FAX・Eメールでも受付します。定員になりましたら受付を終了します。)

複数の学習会に参加を希望された場合は、順位の高いお申込みを優先します。参加者多数の場合、参加いただけない場合があります。

◆参加の際は感染症予防対策をお願いします

・お出かけ前に、体調のセルフチェックと検温をお願いします。体調が悪い場合は、参加をご遠慮ください。

・公民館内ではマスクを着用してください。

・来館前と退館時には十分な手洗いもしくは手指消毒にご協力ください。

参加費は無料です
 4面に詳しい内容を載せています

【WEBでオンライン参加を希望される方へ】

- ・話題提供者の発表など、学習会の一部をオンラインで視聴できます。(視聴できる内容は、学習会ごとに異なります。)
- ・オンライン会議システム「Zoom」を使用します。開催前日までにご記入いただいたメールアドレスに、ログイン用のIDとパスワードをお送りします。

申し込みはこちらから



公民館大会のホームページ

公民館の実践紹介③

興除公民館

「防災語ろう会」で学び合う仲間と共に
防災を“自分事”とするための第一歩踏み出す

岡山市立公民館の防災学習事情

平成23年3月の「東日本大震災」以降、全国的にも防災への取組が大きく進む中、岡山市の公民館の防災学習も多様な内容に変わってきました。身の回りの準備物だけでなく、ハザードマップを利用したDIG^{*1}や避難所運営を考えるHUG^{**2}など、より具体的に、災害時の状況が想像できるものになっていきました。また平成24年度より「防災キャンプ推進事業」が始まり、住民同士が連携する中に公民館も加わって、様々な手法で学習機会の提供を行ってきました。

一方で、岡山市では災害時の地域住民同士の助け合いを推進するため、町内会に自主防災組織を結成する流れがありました。西日本豪雨災害に見舞われた翌年の平成31年度（令和元年度）には自主防災組織の設立100%を目指す方針が打ち出され、市内の多くの町内に自主防災会が生まれましたが、具体的に何から始めればよいのかという課題が残りました。

防災について、語ろう！

実際に自主防災会を機能させるためには、どんな取組をすれば良いのでしょうか。災害とひと言に言っても様々なものがあります。そして住んでいる地域の状況で、



被害の様子は一人一人違ってきます。「私の住んでいる辺りではどんなことが起こるのか」「何を備えておけば良いのか」「避難のタイミングはいつ?」。そんなことを話し合い一緒に考えるために、令和2年4月、興除公民館に「防災語ろう会」という学びの場ができました。

この会には、前年に実施した防災講座に参加した人や、地域で防災活動をしている人々に声をかけ、口コミで人の輪を広げながら現在20名ほどの人が集まっています。情報交換や相談等何でもありの会にしたいと、立場や性別、年齢や住んでいる学区にこだわらず、40代~70代の市民（男性が若干多い）が集まっています。また、メンバーの中には町内会長や民生委員、自主防災会の役員を務めている人もいます。地域で率先して共助に携わる立場のこの人たちが防災に関して頭を痛めていることは、自助が地域に浸透していないことでした。そこで、この会で取り上げる最初のテーマは「自助」と決まりました。

学び合いから課題発見へ

「防災語ろう会」は、毎月第1土曜日の午前中に、誰でも、いつからでも参加できるというスタンスで実施しています。これまで、避難準備物等の検討、学校での防災教育の実際、干拓地である興除地区の内水氾濫や、それに伴うマイ・タイムライン^{**3}の考え方、避難所運営の体験談、避難の見極めに役立てるための気象の学習などを進めてきました。

その間、毎年8月末に実施している東哇学区防災訓練と、岡山市防災訓練（於興除小学校）が相次いで行われ、長年市民主体で行ってきた訓練（東哇）と、行政主体で行った訓練（興除）が2日続けてあったため、それらを比較しながら今後の課題を出し合うことができました。

その土地の状況に応じた
生きた防災学習が必要

今後災害を自分事として考えるには、通り一遍の学習内容では市民のニーズに答えられなくなることが考えられます。この土地だからこそ起こるだろう被害を想定し、だから今自分にはどのような学びが必要なのかを考えることが求められています。

この「防災語ろう会」では、様々な市民が疑問や意見を自由に出し合う中で、学んだ内容を自分の町内の会議で伝えたり、仲間同士での学び合いの材料に使ったりという動きも生まれてきています。また公民館の別の防災講座のアシスタントを務めるなど、学びをさらに深めようとするメンバーや、「こんな情報が皆に配れないだろうか」と、資料を見つけてくる人もいます。そういった中から、防災を学び合う仲間と共に、やがては主体的に、その土地ならではの防災の取組を考え、実践力を身に付けることへとつながるのではないのでしょうか。

自分の住まう地域で安全安心に暮らすためにも、「防災語ろう会」のような自助意識をしっかり持った市民とともに公民館も学び、災害に強い地域づくりの実現に努めていきたいと思えます。

※1 災害(Disaster)、想像力(imagination)、ゲーム(Game)のこと。参加者で地図や図面を囲み、災害リスクをイメージし、予防策や対応策を考える参加型図上演習。

※2 避難所運営ゲームのこと。英語で「抱きしめる」という意味も含んでおり、避難者を優しく受け入れる避難所のイメージと重ね合わせて名付けられたもの。

※3 台風の接近や大雨で河川の水位が上昇する時、自分自身がとる避難に備えた行動を、一人ひとりがあらかじめ決めておくもの。

公民館の実践紹介④

芳田公民館

広がる地域での子どもの活躍

「よしよし応援団」とともに行う夏休み子どもチャレンジ事業

夏休み中の子ども対象事業

芳田公民館では毎年夏休みに、主に小学生を対象とした事業を多く実施しています。

実施している事業は、「夏休みチャレンジGO!」、「子ども夏まつり」、「よしよしサマースペース」で、夏休み中の子どもの居場所づくり、地域住民の力量発揮、地域住民と子どもとの交流、中高生の活躍の場づくりを進めていくことをねらっています。事業にかかわる中高生から大人までのボランティアを「よしよし応援団」と総称して、ゆるやかなつながりを持ちながら企画・開催しています。通年で活動している団体ではありませんが、芳田・芳明学区に在住・在学の方を中心に、中学生ボランティア50~60人、高校生20~30人、大人20人前後の人たちが、毎年事業に関わります。

夏休みチャレンジGO!

「夏休みチャレンジGO!」は毎年15回前後開催し、延べ400人近い小学生が参加する体験講座です。講師やボランティアとして協力してくれるよしよし応援団員と5月頃から会議を持ち、話し合いながら企画していきます。手芸、工作、生け花、折紙など、得意なことを活かして小学生たちの講師役を務める地域住民を中心に、芳田中学校の美術部、放送部、芳田小学校・芳明小学校・芳田中学校の学校司書、芳明学区栄養改善協議会、公民館クラブ講座などが協力してくださっています。

中高生ボランティアの募集にあたっては、芳田中学校と、隣接する学区にある芳泉高校が協力してくださっています。芳田中学校ではボランティアに応募してきた中学生への説明会を開催（写真）していて、学校ぐるみで協力いただいています。



子ども夏まつりin芳田公民館

「子ども夏まつりin芳田公民館」はよしよし応援団員が中心となって企画する楽しいイベントで、これも毎年5月頃から会議を持ち、企画を進めています。地域団体、子ども園、地域住民有志などがブースを出店し、子どもを中心に600人以上の参加があります。また、芳田農協からの米の提供や、地域住民からの「輪投げの景品」「流し素麺用の素麺」の寄贈など、多くの方からの協力

があります。小さな子どもたちでも金銭的に無理なく楽しめるようにと、屋台の食べ物はすべて50円に抑えるなど、出店者も工夫をしています。炎天下での自転車整理・販売の売り子役・おみこしかつぎなど、中高生ボランティアの活躍が多くの人目に触れる機会でもあります。



よしよしサマースペース



広いロビーに長机を12本並べて、小中高校生が自主学习したり友達とおしゃべりしたりできるスペースにしています。ロビーを通る人が自然に子どもとふれあう機会にもなっています。

中高生のボランティアが学習に協力をしてくれる時もあります。みな、ルールを守って静かにスペースを活用していて、その様子は大人が感心するほどです。

子どもの地域での活躍が一層広がっていくように…

数年前から芳田公民館のすぐ近くに事業所を構える中国電気保安協会が「夏休みチャレンジGO!」の1コマを担当しています。当時事業所におられた職員がこの事業のことを知り、協力を申し出てくれたのです。その方は他市で主任児童委員もされていて、公民館での子どもの活動に注目してくださったのでした。

また、地域にある葬儀会社が「夏まつり」への協力を申し出て、景品用のグッズを寄贈したり、ブース出店をするようになりました。少しずつですが、毎年何かしら広がりや手応えを感じています。

昨年度からは館長が中心になって、地域で継続的に活動していく中高生ボランティアの組織づくりを目指して取り組んでいこうとしていましたが、その矢先のコロナ禍で、一旦保留となっています。

子どもを取り巻く問題への関心を高めるためには、子どもと接する機会を増やすこと。子どもを中心に据えれば、いろんな立場の人が関われる。今は思うようにはいきませんが、時期がよくなれば、より一層広げ進めていけるように、今からしっかり考えていかねばと思います。

公民館大会 テーマ別内容のご紹介

地域づくり

子どもを通じた地域づくり

地域の活動に子どもたちが参画して活躍できる学びの場をつくり、地域が元気になるためにはどんな工夫や取り組みが必要なのか。3つの実践事例をヒントに持続可能な地域づくりのアイデアをみんなで出し合います。

◆日時 1月23日(土) 13:30~16:30

◆事例発表 (13:35~14:50)

- ①「地域とつながり 未来を拓く はやしまつ子の育成」
- ②「ミッションは楽しんで地域貢献♪
御南西公民館×御南中学校 若者★プロジェクト」
- ③「御津金川地域の持続可能性維持をめざした取り組み
～今、私たちにできることはないか～」

◆意見交換 (15:00~16:20)

◆定員 会場40名(先着順)

◆会場 岡山市立瀬戸公民館(岡山市東区瀬戸町瀬戸 54-1)

若者の地域参画

若者と地域をつなぐ公民館

ボランティア活動や社会参画に意欲的な若者がいる一方で、次世代の担い手となる若者の力を必要としている地域社会と若者とがうまくつながっていないケースがあります。そこで、公民館が若者と地域をつなぐ「結び目」となることで、両者が互いに良い関係性を築き、活動が一層進んでいくような「地域×若者」のさらなる可能性を探っていきます。

◆日時 1月30日(土) 14:00~16:30

◆パネリスト

- 角名 咲さん (ノートルダム清心女子大学学生)
- 中里 真一さん (IT関連会社経営・カフェ「omoや545」経営)
- 中塚 朋子さん (就実大学人文科学部 総合歴史学科 准教授)
- 藤山 宙子 (東山公民館 主任)

◆定員 会場40名(先着順)

◆会場 岡山市立操山公民館(岡山市中区国富三丁目 9-12)

防災・減災

避難所運営の初動と準備

～福田公民館が避難所になったら～

はじめに、豪雨により福田公民館が避難所になったという想定で、避難所の初動(受付)を体験。14時より「地域・行政・公民館が連携した、避難所運営の円滑な初動と準備」をテーマとしたパネルディスカッションを行います。防災の取り組みやグッズの展示もご覧ください。

◆日時 1月24日(日) 13:30~16:00

◆パネリスト 受付から訓練を開始します。

- ボウズ 満恵さん(防災士・福田小PTA 会長)・
- 田村 隆洋さん(岡山市危機管理室)
- 岩木 護さん(福田学区の安全と安心をまもる会)・
- 高田 恵子(福田公民館 館長)

◆定員 会場30名(先着順)

◆会場 岡山市立福田公民館(岡山市南区古新田 1186)

地域福祉・共生

いつまでも住み慣れた地域で暮らすために

～支えあいの仕組みを考える～

岡山市における65歳以上の高齢者人口は18万人を超え、市民の4人に1人が高齢者という「超高齢社会」を迎えています。地域の人たちで作った支えあいのグループや社会福祉法人の地域活動のお話を通して、いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らすために、公民館でどのようなことが出来るかみんなで考えます。

◆日時 1月31日(日) 13:30~16:00

◆事例発表

- ・社会福祉法人と公民館との連携事例：社会福祉法人報恩積善会、社会福祉法人ももぞの学園
- ・生活支援サポーター養成講座受講生の活動事例：旭竜助け合い隊

◆助言者

中井 俊雄さん(ノートルダム清心女子大学 准教授)

◆定員 会場50名(先着順)

◆会場 岡山市立操山公民館(岡山市中区国富三丁目 9-12)

令和2年度 岡山市立公民館大会 参加申込書

申込日 令和 年 月 日

ふりがな			電話番号	
氏名			FAX番号	
住所				
メールアドレス(ある方はご記入ください) (※リモートで参加される方は必須)				
該当するものに、○をつけてください。				
学習会	優先順位	参加形態		
地域づくり (1/23)	第 1・2・3・4 希望	公民館会場 ・ リモート視聴		
防災・減災 (1/24)	第 1・2・3・4 希望	公民館会場 ・ リモート視聴		
若者の地域参画 (1/30)	第 1・2・3・4 希望	公民館会場 ・ リモート視聴		
地域福祉・共生 (1/31)	第 1・2・3・4 希望	公民館会場 ・ リモート視聴		

※ご記入いただいた個人情報は公民館大会の運営および連絡にのみ使用し、目的以外には使用しません。